



雪崩により切断された電話ケーブルを復旧させるため、雪上車で山奥の現場へ向かう



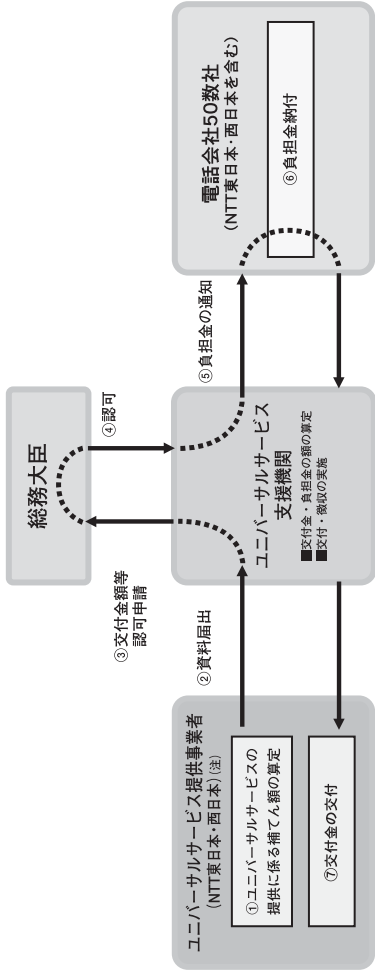
山を越えてつながる電話ケーブルのメンテナンスは重労働。夏は下枝を払い、冬は雪の中で保守する



島に住む人にとって通信網は命綱。海底ケーブルが船の錨や、漁船の網に引っ掛けられて切断されることもある

緊急通報など最低限の通信確保

「ユニバーサルサービス制度」の流れ



(注) NTT東日本・西日本がユニバーサルサービス提供事業者として指定されています。

電話のユニバーサルサービス

負担金6円に値下げ

全国どこでも公平に利用できる電話サービスを支える仕組みとして、07年1月以降、電話番号の数に応じた費用が、各電話会社からユニバーサルサービス支援機関である電気通信事業者協会を通じて、NTT東日本・西日本に交付されている。番号単価は、利用(契約)の電話会社から支払われるが、その金額は消費者の負担でまかなわれている。07年1月から12月までは、1番号あたり7円(月額)だが、来年1月から6円に値下げる。

来年1月から

日本全国で提供されている加入電話・公衆電話・緊急通報(110番・118番・119番)の電話サービスは、電気通信事業法に定められているユニバーサルサービス。電気通信事業法により「あまねく日本全国で提供が確保されるべき」と規定されている。加入電話の基本料金や、社会生活上の安全および戸外での最低限の通信手段を確保する観点から設置されている第一公衆電話、さらに特例料金となる離島および110番・118番・119番の緊急通報がこれに該当する。

従来はユニバーサルサービス提供事業者であるNTT東日本・西日本が、サービスの提供に必要な費用を負担していた。しかし携帯電話やIP電話の普及および電話サービスの競争の進展に伴い、通話料金が大幅に安くなる一方で、電話のユニバーサルサービスに必要な費用が不足。電話のユニバーサルサービスを維持するため、主要な電話会社全体で支えていく新しい制度が昨年からスタートしている。

ユニバーサルサービス制度の具体的な仕組みは、NTT東日本・西日本に

対して補てんする金額をもちに、1電話番号当たりの支払額(番号単価)を電気通信事業者協会が決定。この番号単価に基づいて07年1月以降、消費者が利用している電話番号の数に応じた費用が、各電話会社(現在53社)からユニバーサルサービス支援機関である電気通信事業者協会を通じて、NTT東日本・西日本に交付されている。(図参照)

08年1月以降の電話番号に基づき負担する番号単価は「6円」。07年9月に、番号単価の上昇を抑制するために改正された総務省令に基づき算定された。なお、この6円の番号単価は、電話番号の総数の増減の見込みなどを勘案して、半年に1回見直される。

広く利用者に情報提供する観点から、ユニバーサルサービス制度についての情報をホームページや自動音声・FAX案内サービスにより提供している。

▽社団法人電気通信事業者協会ホームページ
<http://www.tca.or.jp/universalservice/>

▽自動音声・FAX案内サービス 03-3539-48330

「電話のユニバーサルサービス制度」の維持に必要な負担額が変更になります。

- 全国どこでも公平に利用できる「加入電話」「公衆電話」「緊急通報(110番、118番、119番)」をみんなで支える仕組みです。
- 携帯電話やIP電話の普及および電話サービスの競争が一層進展し、ユニバーサルサービスの確保に必要な費用がさらに不足する状況となっていますが、制度見直しに伴い、平成20年1月から1番号当りの負担額(番号単価)は6円になります。

当協会ホームページ <http://www.tca.or.jp/universalservice/>
または自動音声・FAX案内サービス 03-3539-4830

お問い合わせ先・支援業務室 TEL 0570-02-1267/03-3345-4830(9時～17時 土・日・祝休日・年末年始を除く)

総務大臣指定 基礎的電気通信役務支援機関
(ユニバーサルサービス支援機関)

社団法人 電気通信事業者協会

「ユニバーサルサービス」を語った振り込み詐欺に注意
総務省から委託を受けていると称して「ユニバーサルサービス料を6か月分をまとめて振り込み」といった内容の電話やメールが届いたという相談が総務省に寄せられている。
国またはその関係団体がユニバーサルサービス料を、一般消費者に対して特定口座への入金を認めている事実はないので注意すること。